

ありがとうフェスタ2012

子どもたちの未来のために、
いま自分にできること

土気シビックウインドオーケストラコンサート

指揮 加養浩幸(音楽監督) 古澤 巖(ヴァイオリン)

2012年3月24日<土> 14:00開演 [13:30開場]

会場 千葉県教育会館大ホール

全席自由席 当日 2,000円 前売 1,700円

主な曲目

- 第1部 宇宙戦艦ヤマト
ディズニーシンフォニックパレード
- 第2部 ピエトロモンタージュ(鈴木英史)
サウンドオブミュージック

子ども夢フェスタ

2012年3月25日<日> 11:00~17:00

会場：千葉市中央公園

<大道芸フェスティバルinちば 同時開催>

未来ポスト (未来の子へ感謝の手紙を書こう)
子どもと一緒に「携帯ストラップ」を作ろう
トレジャーハンティング (一緒に夢を探す旅)
「風船と花の種」「季節のミニ花鉢」
子どもの命と夢を大切に作るコーナー 他



Thank You Festa 2012

主催/社会福祉法人光明会

共催/社会福祉法人八街市社会福祉協議会

後援/千葉県 千葉市 NPO法人児童虐待防止全国ネットワーク

NPO法人子供の教育・生活支援 日本公文教育研究会

協力/土気シビックウインドオーケストラ 大道芸フェスティバルinちば実行委員会

NPO法人まちづくり千葉 いい街ちばフリーマーケット運営実行委員会

前売・お問い合わせ/就職するなら明朗塾 TEL043-442-0101

ありがとうフェスタ2012 開催の趣旨

社会福祉法人光明会が経営する「就職するなら明朗塾」(八街市)、「就職するなら明朗アカデミー」(成田市)、障害者就業・生活支援センター「就職するなら明朗塾」(佐倉市)は「就職支援」を主たる業務として障害者支援を行い、ここ数年、毎年100名を超える障害者の一般企業への就職の成果を得ています。

就職支援では障害者雇用企業への支援と障害者自身への生活支援とのどちらも重要です。様々なケースに関わるなかで、相談者の中に少なからず幼少期に何らかの虐待を受けていることが判明しました。就職が実現できない一因に被虐待があるならば、将来虐待された子が親になったときに今度は虐待をする側になる世代間伝達という問題も懸念されます。どこかでこの負のスパイラルを食い止めなくてはなりません。

また虐待・被虐待の生まれる生活環境を検証すると、家族・地域コミュニティなどからの「孤立」にあることもまた分かりました。「孤立」が原因で子どもへの虐待がみられるならば、負のスパイラルを止めるには、コミュニティづくり(またその再編)に取り組まなければならないこととなります。

一方、人は支援されること(周囲から何かを与えられること)だけでは自己充足感は得られるものではなく、むしろ他人の幸せのために尽くす行動を通じてこそ幸福感を得ることができます。人は誰でも(当然障害者も)就職することで単に経済的に豊かになるのではなく、就職を通じて利他の行動に主体的に取り組む生き方を通じて幸せな人生を手にすることができるのです。当法人は、他人のために尽くす行動として、東日本大震災以降、復興支援活動として「子どもたちの未来をつくる」観点から取り組んできました(昨年8月1日の「第12回めいろう夏まつり」や宅配弁当事業で就学資金の寄付を続けています)。今回のイベントはその一環で「子ども虐待のない社会づくり」を主たる課題に選びました。

子ども虐待は大人を中心とした社会に起きています。そして子ども虐待は親(養育者)だけの問題ではなく、親を取り巻く様々な環境から結果的に発生しています。だから、私たちはもっと正しく事実を認識し「子どもたちの未来のために、今自分にできること」をしっかりと考えて行動する必要があるのです。

子どもたちは、大人が失った(または気づかない)ものを必ず持っています。それは「未来と希望」です。この「未来と希望」を保証していく活動に障害者が主体者として関わること、この行動が障害者の新たな社会活動(社会貢献活動)になり、さらには「働く」の本来のスタイルと見なすことができます。一步を踏み出した障害者に行政機関や民間団体・企業等、そして支援者など志を共にする者が集まり、協同でイベントを創り上げるものです。

(社会福祉法人光明会 理事長 小澤定明)



土気シビックウインドオーケストラ

1988年に「音楽を楽しもう!」を合言葉に、数名の有志によって千葉市土気町を拠点に創設。1994年には加養浩幸氏を音楽監督兼常任指揮者に迎え、以後、毎年の定期演奏会をはじめ、より幅広いお客さまへ向けたファミリーコンサート、アンサンブル演奏会、課題曲講習会等のモデルバンド、慰問演奏、音楽教室、地域行事、吹奏楽コンクール(全国大会へ10回連続出場、8回金賞受賞)など、意欲的な演奏活動を行う。また、全国各地からの依頼に応じて、これまでに北海道、横浜、山梨、香川、高知、金澤、松本、高崎、浜松、掛川への演奏旅行を行い、各地で好評を博す。

指揮 加養 浩幸(かよう ひろゆき)

千葉県出身。東京音楽大学(トランペット専攻)卒業。トランペットを故金石幸夫氏に師事。卒業後、千葉市立土気中学校に着任。同校吹奏楽部を指導し、吹奏楽コンクール全国大会へと導く。国際交流にも積極的に参加し、文化庁文化国際交流事業に度々参加し、音楽監督として参加し好評を博す。併せて、海外への講習会にも招聘される。現在、全国のバンドのアドバイザーとしての活動やコンクールの審査員、執筆活動や編曲活動など多くの成果を挙げている。近年はオーケストラ・合唱を指揮しての演奏会も多く、いずれも好評を博す。日本吹奏楽学会理事、土気シビックウインドオーケストラ音楽監督、東海大学吹奏楽研究会音楽アドバイザー、日本バンドクリニック委員会委員顧問、東京音楽大学講師。

